

NEWS RELEASE



2021年12月7日

京都市内141店舗に「ペットボトル回収機」を設置 12月7日(火)より順次稼働開始

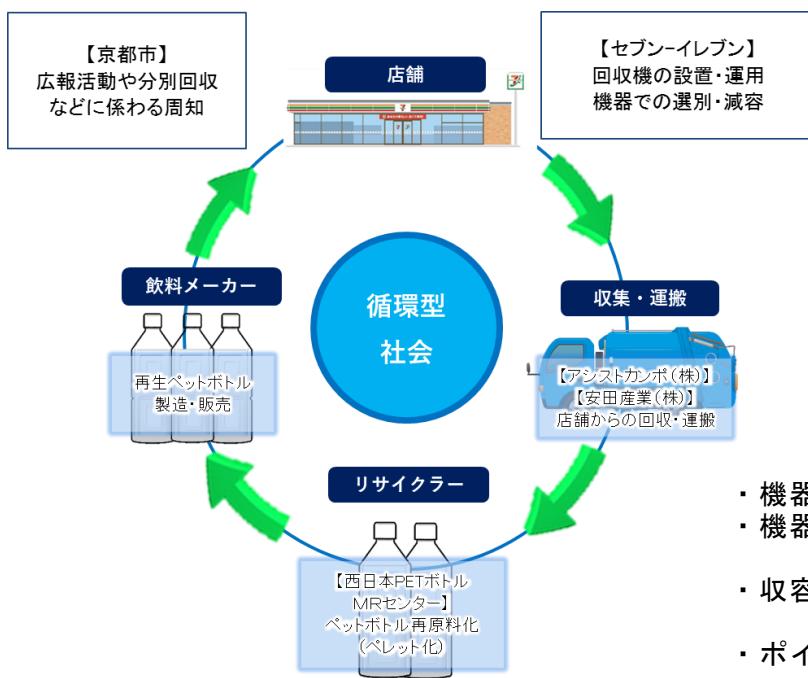
株式会社セブン-イレブン・ジャパン(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:永松文彦)以下セブン-イレブン・ジャパン)は、12月7日(火)より順次、京都府京都市内のセブン-イレブン141店舗に「ペットボトル回収機」を新たに設置し、限りある資源の有効な活用と海洋プラスチックごみ対策を目的としたペットボトル回収事業を開始します。

セブン-イレブン・ジャパンは、京都市と締結している『地方創生包括連携協定』に基づき、伝統産業の振興や市内のセブン-イレブン一部店舗におけるお土産商品の販売などに取り組んでおります。持続可能な循環型社会を構築するために「京・資源めぐるプラン」を推進する京都市と共に、この度、環境負荷低減と資源循環を推進する取り組みを共に推進いたします。

地域社会と一緒にしたボトル to ボトル※によるプラスチックのリサイクルと海洋ごみ対策を促進し、“循環経済社会”的実現と海洋プラスチックごみの削減を進めてまいります。

※ ペットボトルを再原料化し、もう一度ペットボトルに戻すこと。

【概要】



- ・機器メーカー: 株式会社 寺岡精工
- ・機器サイズ: W650×D500×H1,330 (単位: mm)
- ・収容量: 280本
- ・ポイント付与: 累計5本毎
nanaco ポイントを1ポイント付与

◆「京・資源めぐるプラン」について

京都市では、令和3年3月に策定した「京・資源めぐるプラン—京都市循環型社会推進基本計画(2021-2030)ー」において、「徹底したプラスチックの資源循環」を重点施策の一つに掲げ、民間と連携して、ペットボトルからペットボトルへの完全循環型リサイクルを促進しています。

〔ご参考〕

◆セブン - イレブン店頭のペットボトル回収機について

セブン - イレブンでは、2017年より店頭への「ペットボトル回収機」の設置を開始し、現在1204台（2021年12月6日時点、京都市設置分除く）となっております。

また、お客様よりお預かりしたレジ袋代金における「本部収益相当額」を、ペットボトル回収機の設置費用の一部に充てることで、更なるプラスチックのリサイクルに取り組んでおります。

※画像はイメージです。



◆回収したペットボトルの再利用について

セブン&アイグループ各事業会社の店頭に設置されているペットボトル回収機で回収されたペットボトルは、ボトル to ボトルの取り組みなどに活用され、再び、商品として生まれ変わります。

〔商品の一例〕

- ・『セブンプレミアム 一（はじめ）緑茶 一日一本 500ml』
- ・『セブンプレミアム 一（はじめ）緑茶 600ml』 各種
- ・『セブンプレミアム 一（はじめ）ほうじ茶 600ml』 各種



明日にいいこと。つなげる、つづける。

以上